

千葉県若手医師等グループの概要

グループ名	青葉×千葉 Ground Round
グループの活動目的	月1回のペースで青葉病院で経験した実際の事例を用いて、青葉病院ホールあおば(大会議室)で両病院の若手医師や医学部生が参加してCase Based Discussionを行い、若手医師の学習機会を創出する。
代表者	千葉大学医学部附属病院 柴山 栄太朗・大学院生

1 構成員

区分別 人数	医学生（県内）	0人	医学生（県外）	0人	臨床研修医	0人	専攻医	3人
	大学院生	1人	医師（県内）	2人	医師（県外）	0人	その他	0人
<主な所属> 千葉大学医学部附属病院 千葉市立青葉病院								

2 今年の活動計画

時期	実施予定内容
1～3月	1つの症例について病歴、身体所見、検査結果を議論し診断能力向上を図る。
4～6月	1つの症例について病歴、身体所見、検査結果を議論し診断能力向上を図る。
7～9月	1つの症例について病歴、身体所見、検査結果を議論し診断能力向上を図る。
10～12月	1つの症例について病歴、身体所見、検査結果を議論し診断能力向上を図る。

3 前年の活動実績（登録1年目は入力不要）

(1) 学習活動

時期	活動概要（学習テーマ等）	参加人数	
		対面	Web
5月	1つの症例を対象に、詳細な経過や診療方針、身体所見・検査結果を細かく議論することで、診断能力の向上を図っている。	22	
6月	1つの症例を対象に、詳細な経過や診療方針、身体所見・検査結果を細かく議論することで、診断能力の向上を図っている。	21	
7月	1つの症例を対象に、詳細な経過や診療方針、身体所見・検査結果を細かく議論することで、診断能力の向上を図っている。	21	
10月	1つの症例を対象に、詳細な経過や診療方針、身体所見・検査結果を細かく議論することで、診断能力の向上を図っている。	22	
11月	1つの症例を対象に、詳細な経過や診療方針、身体所見・検査結果を細かく議論することで、診断能力の向上を図っている。	22	
12月	1つの症例を対象に、詳細な経過や診療方針、身体所見・検査結果を細かく議論することで、診断能力の向上を図っている。	27	

(2) その他の活動

毎朝のlectureに加え、月3-4回、東千葉メディカルセンターとの合同カンファレンスを開催している。1つの症例を対象に、詳細な経過や診療方針、身体所見・検査結果を細かく議論することで、診断能力の向上を図っている。この活動は、設置主体の異なる医療機関との継続的な学習機会として、若手医師の教育に大きく寄与している。
